

# 金融機関の融資動向に関するアンケート調査結果

H20.11 島根県中小企業課

## 【調査の目的】

金融機関による中小企業者向けの融資状況を把握し、中小企業金融の円滑化に向けた今後の施策の参考とするため

## 【調査の対象】

県内の事業者750社（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業、飲食・宿泊業、運輸業等）

## 【実施時期】

平成20年10月31日（金）～11月11日（火）

## 【実施機関】

島根県、島根県商工会議所連合会、島根県商工会連合会、島根県中小企業団体中央会

## 【調査の方法】

郵送により回答票を配布し、FAXにて回答票を回収（一部は直接持参、聞き取り）

## 【回答状況】

配布750件、回答399件、回答率53.2%

回収数の内訳（地域別）：東部（隠岐を含む）217、西部177、無回答5

// （業種別）：製造業95、建設業83、卸売業11、小売業93、サービス業65、飲食・宿泊業36、運輸業11、無回答5

Q1.最近の経営状態は前年同時期と比較していかがですか？

回 答	回答数	構成比
悪化している	233	58.4%
変わらない	146	36.6%
好転している	17	4.3%
その他、無回答	3	0.8%
計	399	

Q2.最近の金融機関の貸付姿勢を前年同時期と比べてどう感じますか？

回 答	回答数	構成比
変わらない	260	65.2%
厳しくなった	86	21.6%
緩くなった	6	1.5%
借入なし、無回答	47	11.8%
計	399	

※「厳しくなった」の場合、Q3以降も回答

Q3.厳しくなった金融機関の業態はどこですか？（複数回答）

回 答	回答数	構成比
地方銀行等	55	45.1%
協同組織金融機関	41	33.6%
旧政府系金融機関	20	16.4%
都市銀行等	6	4.9%
計	122	

Q4-1.どのような姿勢をもって厳しくなったと感じましたか？（複数回答）

回 答	回答数	構成比
新規融資を拒否された	30	28.8%
金利を引き上げられた	26	25.0%
融資契約更新を拒否された	14	13.5%
既存借入の返済を要求された	10	9.6%
追加担保を要求された	6	5.8%
その他	18	17.3%
計	104	

Q4-2.厳しくなった理由や背景は何だと思えますか？（複数回答）

回 答	回答数	構成比
自社の個別要因 （業績、財務状況、返済状況など）	47	32.4%
景気の動向	41	28.3%
業界動向の変化	20	13.8%
信用保証協会による審査の厳格化	17	11.7%
金融機関の一方向的な都合	14	9.7%
その他	6	4.1%
計	145	

Q4-3.厳しくなったと感じた姿勢について、いわゆる「貸し渋り」に該当すると思えますか？

回 答	回答数	構成比
思う	38	44.2%
よく分からない	32	37.2%
思わない	8	9.3%
その他、無回答	8	9.3%
計	86	